

『機関紙よどがわ』リニューアルのお知らせ♪

『機関紙よどがわ』は8月号より、より多くの情報をお届けするため、小冊子・カラーでの発行になりました。コーナーも増えて、地域の課題を解決するために活動している団体などの情報もお届けします。『笑顔ひろがる豊かなくらし』のための読み物としてご活用ください。

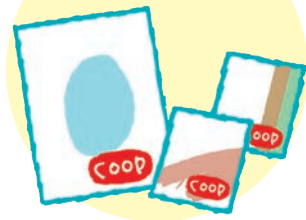
小冊子・カラー化記念として、クイズ正解者には抽選でよどまるグッズをプレゼント!!



よどまる

A賞 生協商品セット
(主に常温食料品)

10人



B賞 よどまるグッズ

10人



C賞 10人
図書カード 500円分



応募方法 11面のプレゼントクイズをご覧ください

よどがわくらしの助け合いの会 124

『ほのぼの』は、「こまった時はお互いさま」という気持ちを大切に、思いやりと感謝の心で支えられた組合員どうしの助け合いの活動をしています。

第18回『ほのぼの』総会を開催しました

6月29日(水)摂津市立コミュニティプラザにて、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら開催しました。今年の総会は14人の出席があり、2021年度の活動・会計報告と2022年度活動計画、幹事会体制について報告を行い承認されました。会員から『ほのぼの』の立場・役割の大切さがわかってよかった」「活動会員が増えるといいなあ」などの発言がありました。

総会後は、『元気なうちに暮らし方を考える「物」との上手なつきあい方』を学習しました。

〈活動会員のみなさんへ〉

9月17日(土)に、活動会員交流会を開催する予定です。くわしくは『ほのぼのニュース』にてご案内を予定しています。



だより



お申込み・お問い合わせ

『ほのぼの』事務局(組織部) ☎06-6319-5619 (月~金 9~17時)

よどまるレポート

001 生協とは？

協同組合の歴史は、19世紀のイギリスにさかのぼります。イギリスでは世界に先駆けて産業革命が起こり、生産が飛躍的に増大しました。しかし一方で、工場働く人々は低賃金・長時間労働を強いられ、常に失業の不安にさらされていました。また、混ぜ物の入った商品や目方の足りない商品を高い価格で売り付けられるなど、不当な生活を強いられました。

そんな生活に耐えかねた人々の間で、お互いに手をつなぎ自らの生活を守ろうという協同組合運動が生まれました。これが「ロッヂデール公正開拓者組合」。生協のはじまりです。

それから、生協は働く人々の暮らしの守り手として世界に広がりました。

「一人は万人のために、万人はひとりのために」という協同の精神は今も変わらない考え方です。



ロッヂデール公正開拓者組合の最初の店舗 (現在は記念館)

地域とともに

2013年に木造平屋建てを改装した「多世代でつながる子育て空間」

発足のきっかけはメンバーのひとりが0歳の娘を連れ「金なし・家なし・仕事なし」の状態からシングルマザーとして豊中市に転居。地縁も血縁もない土地で仕事と保育所を探すことの困難に直面した経験から、子育ては家庭の中だけでなく地域全体でするのが理想だと実感。同市は核家族や転勤族が多く住み、孤立した子育てが地域課題でもあったので、「こどもを真ん中に子育て世代とリタイア世代の「困った」と「得意」を持ち寄って暮らしをシェアできる、ゆるやかなコミュニティづくり」をコンセプトに掲げました。



代表の測上桃子さん

今回は...

よどがわ市民生協が食材提供をしている団体紹介
団体名:【団欒長屋プロジェクト】

住所 豊中市蛸池西町1-3-32 連絡先 06-6836-9011

HP <https://danran-nagaya.com/>

「こどもを中心とした多世代交流の拠点」として学童保育・乳幼児保育・ホームサポーター派遣など子育て支援事業のほか、こども記者が地元取材するフリーペーパー「だんらんしんぶん」の発行、多世代交流イベントなどを開催。



困った時はお互いさま

かつての長屋暮らしのような、困った時はお互いさまの精神で現代版「向こう三軒両隣」のような共生の風景をつくりたい。そんな思いで学童保育からスタート。利用者のひとり親家庭のお母さんを始め大学生、シニア世代など性別・年齢・国籍も様々な仲間が集まり、たくさんの事業が枝葉のように広がりました。

令和3年「あしたのまち・くらしづくり活動賞」内閣官房長官賞を受賞し、誰もが活躍できる居場所として地域の子育て力のアップと、立場や役割を超えた繋がり作りに貢献しています。

